



親子あそび 197

これは何でしょう



(ヒント)
お正月を迎える前に、「うす」と一緒に使うよ！
答えについての思い出などもお待ちしています。

しめきり 1月14日必着
あて先 〒783 南国市大浦甲二〇一 南国市企画課 親子カイズ係
賞品 正解者の中から抽選で5人の人に図書券を贈呈
◎第296回親子カイズの答えは、サンタクロースでした。

第296回当選者発表(敬称略)
(応募総数31通)
野口 美紀(久礼田)
白玖真由美(大浦甲)
松下 智香(浜改田)
柳瀬智香子(久礼田)
坂本佳菜子(篠原)

思い出がいっぱい

◆高知に来て二十五年がたちます。子どものころ、第一にクリスマスのために「今年は絶対サンタクロースを見よう」と約束し、十二時ごろまで起きていたのですが、結局寝てしまっ。その繰り返しでした。両親はきつとプレゼントを明け方置いてくれたのでしよう。忘れられない思い出です。
(庄島 宏子)

◆今年もクリスマスにプレゼントを持って来てもらいたいな。
(森尾 菜穂)

◆もうすぐクリスマスですね。小さいころ、毎年B5サイズぐらいの大ききで、サンタの絵が書いてある板チョコがサンタクロースからのプレゼントでした。しかし、小五の時、台所の食料棚を開けた時、この板チョコを発見してしまったのです。しばらくは、何がだかさっぱり分からなかったけど、ようやく理解し、幼いころからのサンタクロースは、お母さんだったと聞かされました。
(日玖真由美)



広場

民生・児童委員協議会と市主催の「国際交流ピクニックイン南国」が十一月二十三日、久枝のなぎさリフレッシュ海岸を中心に開催され、十五人の外国人と市民約百人が参加し、楽しく交流しました。

穏やかな小春日和のこの日は、まさにピクニックデー！
まず、高知大学農学部キャンパスでラジオ体操でウォーミングアップ。外国人と自己紹介し合ったり、おしゃべりしながら物部川堤防の道をなぎさ海岸まで約二・五キロウォーキング。物部川もよく見ると水が少ないうえ、浜に着いて、さあ一着にゴミ拾い、シン？ 何だかきれい。それもそのはず、前日に老人クラブの皆さんが清掃してくださったそうです。それでもゴミを探して海岸を行ったり来たり。特



に外国人の方々も、熱心に拾ってくれました。
そろそろおなかもすいてきたと思ったら、いい匂いが。民生・児童委員の人たちが焼きそばやバーベキューを焼いてくれています。持ってきたおにぎりやお菓子、果物を分け合ったり、穏やかな海辺で日本語、アバウトな英語、中国語で会話が弾みました。
おなががいっぱいになると、本日のお楽しみフライングディスクゴルフです。投げて思ったように飛ばないフリスビー。やってみると結構おもしろい。結果はカナダから来たジョナサン・ソープルさんが一位となりました。
幼児、小・中学生から高齢者まで多くの世代が交流した国際交流イベントは初めてでした。外国人と友だちになり、相手の家に行く約束をしたり、住所を教え合ったりするなど、交流の輪が広がりました。
南国市の自然を満喫した笑顔が絶えない楽しい一日でした。

国際交流ピクニック体験記

みんなの



12月6日、瓶岩幼稚園の64人の園児が、恒例のもちつきを行いました。この日は、保護者20数人も応援に駆けつけました。だけど、やっぱり火のそばが恋しいみたい。そのそばを元気に園児たちが走り回ります。そうする間に、もち米が蒸せ、もちつきが始まると、



福祉施設も「もちつき」

12月13日、なんこく共同作業所に嶺北相模連盟から8人が(写真上)。国府寮には、国府小5年生16人が招かれ(写真右)、もちつきで交流を深めました。知的障害者や国府小の子供たちは集まった人に手助けをしてもらい「よいしょ」と元気な声を掛けながら、きねを振っていました。



いよいよ主役の出番です。かわいいエプロンを身につけて、背丈ほどのきねを振り上げ、一生懸命「べったん、べったん！」リズム感もよく、なかなか腰の入ったキネ使い。アンコを詰める手つきも手慣れたもの。あれよあれよという間に、おいしいおもちのできあがり。

べったん！べったん！
おいしいおもちはいかがですか？

短歌

従兄弟らの頭でありて
教師たりし亡兄の一世のやさしき情
有 浜 尺田千恵子
空海を偲びて参る普通寺
一鉢買ひぬ記念の白菊
岡重町 葛目 愛子
二カ月の入院生活帰へり来て
今宵九杯の茶器で新茶の心
立 田 北村 幸江
病床の窓辺に見ゆる木々でさえ
枯木のさまに新芽宿して
橋 生 戸根 孝雄

俳句

亡父亡母の手拍子聴こゆ日向ぼこ
里改田 山岡 みよ
十二月八日ゆかない食といふ
福 船 大島 新草
女人ゆく地蔵渡しという枯野
堀ノ内 北岡 高子
木枯らしの音に目ざめる夜長かな
田 村 佐竹 花美
街路樹の落葉かさなる冬の色
植 野 原 忠男
前に立つ杭争そへる夕時時
浜改田 清淵 保

川柳

事展みて我も書きたし作りたし
ふたりっ子朝のひとときティータイム
里改田 下崎 一子
廿 枝 島田八重子

『人権の花』に思いを込めて



『人権の花』は、子どもたちが協力し合って花を育てることで、思いやりをはぐくもうという運動。
12月5日、人権週間に合わせて、奈路・白木谷小学校の3・4年生児童26人が、「土佐清風園」を訪れ、おじいちゃん・おばあちゃんに会えるのを楽しみにしていましたと、大切に育てたパンジーなどの人権の花をプレゼントしました。

